

議題「体育祭での大縄跳びを成功させよう」(第2学年)

〔事前の活動〕



1 問題の発見

S1:「今、学級内の一部のグループの発言力が強く、人間関係が固定化されてきています。体育祭を機に、学級全員で団結して大縄跳びを成功させることで、学級の団結力を強めたいです。」

教師:「アンケート結果からも、S1さんと同じ思いの人が多そうですね。」

2 議題の選定【学級活動委員会】

S2:「体育祭に向けて、次回の学級活動で大縄跳びの成功に向けて話し合うことにしよう。」

教師:「なぜ、何を話し合うのか、大縄跳びが『成功する』とはどのような姿なのか等、イメージを共有できるように提案理由をしっかりとまとめておきましょう。」

3 計画の作成【学級活動委員会】

S3:「話し合うことは、まず柱①として、『大縄跳びを成功させるための作戦を考えよう』が必要だね。」

S4:「そうすると、柱②に『役割分担を決めよう』もあるといいね。」

S5:「学級活動委員の中で、司会二人、黒板記録二人、ノート記録一人を分担しよう。」

4 問題の意識化【学級活動委員会・全員】

S6:「私たちのクラスは『何をもって大縄跳びの成功とするのか』を確認しよう。」

生徒の思いを議題の提案につながられるよう助言する。

提案理由に入れる内容
・学級の現状と課題
・解決の見通し など

各自が自分の考えをもって参加できるようにする。
教師は助言や励ましの言葉を書いて生徒に渡す。



提案理由や決まっていることについて、共通理解を図る。

学級には、いろいろな生徒がいることを前提として話し合えるよう提案理由で確認できるようにしておく。
課題意識を高め、一部の生徒だけの取組にならないように配慮する。

実践への見通しをもって話し合えるよう、司会の生徒に事前に助言しておく。

安易に多数意見に流されずに、学級全体を考えて、少数意見も尊重できるように配慮する。



S5:「僕もS3くんと同じように勝ちたいです。でも『自分が足を引っ張ったら…』と不安な人もいますので、縄を速く回すよりも、大きく回すようにすると跳びやすいと思います。」

S6:「私は運動が苦手なので、S5さんの言うようにしてもらえると助かります。」

司会:「では、いま出ている円陣を組む、回数を全員で数えながら縄を大きく回す、の2つを作戦として決めていいですか。」(以下、略)

柱② 役割分担を決めよう

司会:「続いて、必要な役割を決めます。まずは考えてきた役割を発表して下さい。」

S7:「私は練習計画係が必要だと思います。練習内容も含めたスケジュールを作成する係があれば、見通しをもって効果的に練習ができると思ったからです。」

司会:「ありがとうございます。他に必要な役割はありますか。」(以下、略)

司会:「では、出された役割について、何か質問はありますか。」(以下、略)

司会:「では、出された役割について、賛成や反対等、意見を出して下さい。」

S8:「私は記録係に賛成です。記録係があると、記録も残しておけるし、みんなの上達が実感できるので、やる気にもつながると思うからです。」

S9:「私も記録係に賛成です。S8さんの意見に関連して、毎日の練習の結果をグラフにして教室に掲示すれば、視覚的にもやる気が出ると思います。」

S10:「私も記録係に賛成です。できれば、回数を書くだけではなくて、みんなの感想やエピソードなども入れながらまとめていくと、後でよい思い出になると思います。」

司会:「それでは、記録係も決めていいですか。」(以下、略)

教師:「今日の話合いでは、一人一人がクラスみんなのことを考えている様子がすごく伝わってきました。また、提案理由にあるように単なる記録だけではなく、クラスが団結するための方法を考えている意見も多く聞かれました。このみんなの思いを、これからの練習や体育祭当日にぜひつなげていきましょう。」

自分の意見を主張するだけでなく、学級内の一人一人のことを思いやって発言できるように指導する。

生徒が自分たちで話し合い、決定することで、実践に向けての意欲を高める。

決定したことは必ず実践し、その後、振り返りを行い、次の活動に生かせるように助言する。



〔本時の活動(学級会)〕

1 学級活動委員会の自己紹介

司会:「司会の〇〇です。進行への協力と、積極的な発言をお願いします。」(以下、略)

2 議題・提案理由・決まっていることの確認

【提案理由】

私たちは様々な活動を通して団結を強めてきたけれど、最近は人間関係が固定化している感じがします。そこで、中学校生活最後の体育祭で大縄跳びをみんなで成功させて、クラスの団結をもっと強められるようにしたいと思い提案しました。

【決まっていること】※教師の指導の下、事前に学級活動委員会で決定、連絡する。

- ・記録を伸ばすだけでなく、クラスが一つに団結するための方法を考える。
- ・決まったことには、必ず全員で協力して取り組む。

3 話し合い

柱① 大縄跳びを成功させるための作戦を考えよう

司会:「皆さんの意見を発表してください。」

S1:「私は、跳び始めるときに、みんなで円陣を組んで手をつなぐのがいいと思います。そうすると、気持ちが一つになるからです。」

S2:「僕は、全員そろって大きな声で回数を数えるのがいいと思います。緊張を大声で吹き飛ばせるし、リズムも共有できてクラスが一つにまとまると思うからです。」

S3:「僕は、縄を速く回すようにするのがいいと思います。短時間で多く跳ぶためには、それが効果的だと思います。」

司会:「出された意見について賛成、反対意見をお願いします。」

S4:「縄を速く回すのは大事なことです、運動が苦手な人にはつらいと思います。提案理由にあるように、クラスの団結をさらに強めるには、いろいろな人のことも考える必要があると思います。」

〔事後の活動〕

1 大会に向けた練習

回し手:「体育祭まであと2週間、みんなに気持ちを一つにして、一回一回の練習に集中していこう!」

全員:「オー! せえのっ 1、2、…」(以下、略)

2 記録係の取組

記録係:「今日はこれまでの最高記録が出ました。何人かにインタビューをして、教室の『体育祭練習だより』に載せたいと思います。」

教師:「いい考えですね。なかなか目立つことのない人の感想も聞いてみてください。」

S6:「私は、運動が苦手なので始めは練習が嫌でした。でも、失敗してもみんなが「ドンマイ」と声をかけてくれたので、ここまで練習に参加できました。私が跳べるようになったのはみんなのおかげです。このクラスで本当によかったです」(以下、略)

3 体育祭当日(大縄跳び終了後)

S3:「今日は、残念ながら優勝は逃しましたが、みんなが一致団結したおかげで、学級新記録を出すことができました。これはまさに、大成功だと思います。」

4 振り返りカードへの記入

S11:「最初はバラバラな感じだったけど、話し合ったことでみんなの心が一つになったし、練習を通して団結がとても強くなったと思います。次の合唱祭でも、みんなで心をつなげて、このクラスで金賞を取りたいです。」

教師:「私もみんなの取組を見ていて、お互いを信頼して団結することのすばらしさを、改めて感じました。これからも、全員で力を合わせて頑張っていきましょう。」

・練習時間を確保する。
・事前に学年や全校の職員で連携を図り、学年や全校で意欲が高められるようにする。
・感想の記入等の振り返りを通して、自分(自分たち)の成長が実感できるようにする。
・トラブルが起きた時も、生徒が解決策について話し合う機会を与えるなど、人間関係が深められるよう支援する。

学校行事に向けた取組では、優勝等の結果が目先の目標となるが、本来の目的は、一連の活動を通して、学級の人間関係をより望ましいものにするものであることを常に認識し、折に触れて生徒にも指導する。